

結婚に対してみんながどんな想いやイメージを持っているのか聞いてみたい。そんな思い付きで始まったこの企画。あいにく事前にとったアンケートはミスであり使えなかったけども、座談会では高谷先生を交えて、様々な思いが飛び交いました。さて、どの様な話になったのでしょうか…。

## はじめに

**司会** 結婚願望はありますか？

**馬場** 奥さんが専業主婦じゃなくてもいいけど、仕事をしていて家に帰って誰もいないのは寂しいと思うので結婚したいです。自分が迎える側でもいいので、コミュニケーションがとりたいたいし、温かみのある家庭が欲しいです。

**福岡** 子育てをしてみたいです。

**廣田** 自分で社会にでてちゃんと就職してから結婚したいです。

**土持** わたしは、育児は仕事をして経済力がついてから考えたいけれど、別に結婚は早くてもいいと思う。一緒にがんばろうっていう形が作ればいいと思う。

**廣田** 自分で稼いでないのに、自分一人ではないのがんばろうっていうだけの問題じゃないと思う。

**土持** 学生である以上援助は必要だと

ると、年齢的に結婚して相手を感じられるかとか、他に恋愛もできないしいろいろ考えられると思うけど、それでもいいって言うている人がいる以上否定できないと思う。

**廣田** 親が子供を養うのは家族だからわかるけど、結婚したのは赤の他人なわけで、それを同じひとくくりで考えるのはおかしいと思う。

**花房** 男はある程度責任を持たないといけない。同棲ならいいと思うけど、結婚は違うものだと思う。それだけの責任を大学生が負えるのかって言うたら負えないと思うので、大学を卒業してある程度収入を得られるようになって、心に余裕ができてからがいいと思う。

**廣田** 「責任」ってどういうことですか？

**花房** 結婚すると家族というものに対して、ちよっと偏見がもしれませんが男は何から家族を維持するための責任を持つようなことをしないとイケないと思う。それが同棲と結婚との違いだと思います。

**土持** 男の人にそういう意識があるのは女の人には助かることだと思う。でも、男の人だけに責任があるのはおかしい。

## お見合いは？

**福岡** 私の知っているお見合い婚の人はとてもいい感じの家庭を築いているし、お見合いもひとつの出会いでいいと思う。

**馬場** はじめから結婚前提というのは抵抗がある。

司会 田中栄一郎（飛翔編集委員）

参加者

教授 高谷紀夫先生

16生

太田裕介 土持李恵 国本文平

17生

福岡いずみ 馬場啓之 花房眞也

河崎幸一郎 山田富士子 田中久美子

水野昌子 藤山文 廣田耕平

高木史

書記（飛翔編集委員）

高野美智子 沖原英奈 宮下綾奈

**高谷** 見合いといっても恋愛も含んでいて、昔とはだいぶ形が違っている。ある結婚相談所では会員が四万人いて、昨年退会した一万二千人のうち、結婚を理由に退会した人が五十二％。入会は独身者に限る（笑）。入会に約二十万円ほど必要で、相手の紹介状が月に二回届けられ、気に入った人が見つかれば交際を申し込む。相互の意志を確認し、相手の連絡先を聞くのが基本方式。そして後は恋愛関係になる。

**太田** でも、それも一種の見合いですよ？

**高谷** 見合いですよ。でも昔の見合いのイメージと今のお見合いのイメージは違います。それこそ法律家限定のお見合いパーティーとかもありますから。大学の先生限定のパーティーはありませんけど（笑）。

**土持** 合コンとかもお見合い結婚ではないけどお見合いだよ。結婚が前提ではないけ



The Mee



ぐ子供のこと  
が来るから。  
結婚しても共  
働きはできる  
けど、ある程  
度は自分がど  
ういう風を生  
きたいかって  
いうのを決め  
ておく必要が

あると思う。ただ結婚がしたいっていうだ  
けで感情的に結婚はしたくない。

**藤山** 私は相手の経済力をそんなに求めては  
いないんだけど、「一人で生きていけなく  
て、寂しさを紛らわすために一緒にいたい」  
というのは困ります。一人で社会に出て、  
お互い生きていける、それくらいの精神的  
な気持ちがある人じゃないと、私は結婚で  
きないです。

**太田** 気持ちとして、価値観の近い人が自分  
には一番だなと思う。逆に言えば、価値観  
が合うなら他の国の人も、他の宗教の人でも  
いいかな。

**馬場** でも価値観の違う人も面白いですよ。  
求めるものは人によって違うから、違う考  
え方の人がいいっていう人もいると思う。

### 結婚に対する思いは？

**高谷** 一人一人の結婚に対する思いを聞いて  
みたいです。

**水野** 経済的に支えてほしいとかじゃなくて  
精神的に支えてほしい、支えてあげたい

って思うんで、結婚したらお互いに支え合  
っていきたいと思います。

**田中** 引つ張ってくれる人がいい。

**藤山** 癒してくれる人がいいです。

**高木** 経済力だけあっても、人間性がない人  
親離れができていない人は困る。何歳まで  
に結婚したいっていつのはあるんですけど  
、もし出会いがなくなっても、焦って妥協  
して結婚したくはない。離婚は絶対にした  
くないので。

**山田** 私は男女の関係の前に生き方とか考え  
方が合う、人間として尊敬できる人がいい  
と思います。好きっていうのとは違うかも  
しれないけれど、そういう人と結婚したい  
って思うし、そういう人だったら長く一緒  
にいたいなって思う。

**福岡** 私もやっぱり人として尊敬できる面が  
あるほうがいいです。でも、結婚するって  
ことはこれからの人生を一緒に歩んでいく  
ってことだから支え合える同士でもいいと  
思いますけど。私は、結婚「家族、子供が  
増えるみたいなイメージがあって、いいお  
父さんになりそうな人にも結構惹かれる。

**馬場** 僕は付き合う時の気持ちと、結婚する  
時の気持ちで区別できないんですが、付き  
合うにしても結婚するにしても、一緒にい  
たいって思うから、結婚するんじゃないで  
すか？だから自分と違うところを持つてい  
る人と、影響しあってお互い自分に無い所  
を相手から学んだりしていければいいなと  
思っています。

**河崎** やっぱり一番にあるのは、一緒にいて  
も嫌な気分にならない人、楽な人が、いい

かなと思う。

**廣田** その時お互い好きであれば、それを一  
番尊重すべきだと思う。他人のことをわか  
ろうとするのは簡単なことではないから、  
その時の気持ちを大事にしたらいいいと思  
います。

**高谷** なぜこの質問をしたかというのと、今回  
のアンケート結果で、みなさんが今結婚し  
たいと思っている年齢が二十六から二十八  
が一番多いってことは、結婚はみなさんに  
とっては少し先の話なんです。経済力と  
か、条件とかはその間にいろいろとつめて  
いけばいいんです。それよりもまずは、結  
婚に対して、今何を期待しているか。とか、  
結婚に対して今どういう風に考えているの  
か、ということが大事だと思っんですよ。  
基本的に僕がやっているのは愛の人類学な  
んです。そこでひとつ聞いてみたいのは好  
きだとか、愛しているとか、非常に尊敬し  
ているとかそういう意味を含んだ場合に恋  
愛のゴール、究極的な形というのは結婚だ  
と思われませんか？

**馬場** 結婚しても恋愛してるんじゃないで  
すか？

**高谷** もちろん結婚っていうのは愛の通過点  
ではありますよ。つまり、好きでも結婚し  
なくてもまあ、現実的に結婚しない場合も  
ありますけど、ゴールって言うかひとつの  
通過点、究極的な形と違っていいかどうか？  
まあ、結婚は人生の墓場という言い方  
もありますけど、間違いなく結婚すること  
によって始まるんです。でも、相手との関  
係をすごい好きで愛しているというのです



る結婚というのは、スケジュールとして入っているのかどうか、まだずいぶん先ですか？

**福間** 先です。

**高谷** ありがとうございます(笑)。なんか今やばい質問したかなって。

**高木** 結婚したいと思えるほど好きっていうのはすごくいい恋愛っていうかいい相手する、しないは別として、してもいいと思える相手がいたら結果って残るかなと。

**高谷** 結婚するっていうのは相手との関係が社会的に安定する関係では？それはある主の愛情表現でもありうるわけですよ。

**山田** 私はあんまり結婚がゴールだとは思わないです。結婚してから急に、自分と相手の関係が変わるんじゃないかと、それまでにだんだん形成してきた形が結婚っていう社会的に認められる事になっただけであって。私はそれからまた、十年後も五十年後ずっと、一緒にいるから、結婚した時点で五十年後のコトは決められないし、月日がたつて行くに連れて、耐えられることもあると思うから、ゴールとは思えない。

**高谷** 正確にいうと形式的なゴールなんです。これ以上の関係はありませんから。ですから相手と結婚した後、添い遂げて行くのはやっぱり当然だと思います。そういう意味では結婚は究極的なゴールなんです。だから、その辺がどうなのかなって、ちょっと聞いて見たんです。

**福間** 私はさっき言ったんですけど、「いいお父さんになりそうだな(笑)」とか惹かれる条件ではあるから、結婚のことも考えて

るのかもしれない。

**高谷** それはすごい素晴らしいコト。

**結婚はまだまだ先の話？**

**高木** 付き合っただけで結婚って言うのは今の段階では全然無くて、恋愛と結婚は、かけ離れたものではあるけど、大学を出て仕事を二十五年前後になったら、考えるかもしません。その時期にならないと...。仕事がおもしろかったら、さっき言ったように仕事人間じゃないけど、仕事が楽しければ恋愛はいらないうって思ってもいいですね。

**河崎** 恋愛をして、分かることもあると思う。付き合うことで出来ること、だいたい広がつて、結婚にだいたい近いところまでできるだろう。そういうのを体験してから見えてくる部分もあるだろうから、友達の段階でいきなり結婚っていうのは難しいんじゃないかな。

**馬場** 皆さんは例えば、ずっと付き合ってるということになったら、いずれ結婚する事になるかもしれないけど、じゃあ付き合っるときにいつか別れると言うことも考えてますか？

**馬場** 結婚と恋愛をまったく別と考えてるって言うことは、何か終わることを前提みたいな感じがするんですけど。

**花房** 結婚はゴールじゃないですか。今、恋愛している中で恋愛の前に自分がどうなるかっていう。そっちが解決しないと...

ここで恋愛と結婚が結びつく。

**藤山** 結婚とかそういう考えは、友達の時点や付き合い始めた時ではなくて、付き合いしていくうちに「この人と結婚してもいいかも」というふうに見えてくるし、長く付き合ってるカップルは結婚の話もするだろうし、そういう事ではないかなと。

**高谷** 最初から別れるんだと思って付き合い始める人はまずいない。でも気持ちには良くわかる。

**少子化について**

**司会** 少子化についてどう思われますか？

**河崎** 子供を産むのは女性側だから、男性よりも女性の方が制限されることが多いと思う。女性の社会進出が進むに連れて、子供を産む段階で時間をとられて、同期の男性に追い抜かれてしまうのが嫌だと感じる女性も増えてるんじゃないかなと思つ。

**司会** やはり仕事をしていく上で子供が負担になると思いませんか？

**福間** すべての職場で育児休暇が取れるとは限らないから。

**馬場** みんな子供を一人っ子にしたくないと考えているから、理想の子供の数は二人、三人、という人が多いんだけど、実際の出生率が1.3人だから、やはり一人産むと、思っていたより大変で、二人目が産めなくなってしまうんだと思つ。

**花房** 共働きの夫婦が増えてきているのに、そういう人達に対して社会がきちんと対応できていないんだろうね。

**山田** 私は少子化がそんなに悪いことだとはあまり思っていないんです。たしかにデメリットもたくさんあるけれど、若い労働者が少なくなっても、まだ働きたいと思っっている高齢者達で補えると思っんです。

**高谷** 少子化は悪いことではないという事ですが、簡単に言うとかアップルが子供をつくりたい時につくれる環境をこの社会が提供できているのかという話になります。現実には先ほど言ったとおり、一人目を産んでみると結構厳しいと感じて二人目をあきらめる場合が多いです。

### なぜ子どもが欲しいのか

**国本** 子供を産むのはとても大変なことだと思えます。経済的にも、精神的にも、身体的にもいろいろな負担がかかると思っのですが、それを乗り越えてまで、なぜ子供がほしいと思っのかが聞きたいです。自分は、子供がほしいとは思っっていません。

**河崎** 親の育て方を見ていると、自分ならばもっとうまくやるのに、と思っことがあるし、他にも、死ぬ時には多くの自分の家族に囲ま



れていた、というのもある。子供を育ててみたい、という興味もあるし。

**馬場** 愛情をそそぐ相手が増えるのはいいことだと思っ。子供に対する愛は、それまでの関係の中には無かったと思っ。

**高谷** 僕は子供がいて自分がいる成長できるのが子供がいてよかったと思っっています。子供の成長を通して、本からは学べない、自分がどんな風に歩んできたのかという事を学べると思っ。

**国本** 実際に育てる段階になったら、あこがれだけではいけないと思っ。

**花房** 無理をして二人を育てるよりは、一人に愛情を注いでしっかり育てたいと思っ。

### 子どもの理想像

**花房** 自分としては、自分に責任を持つてもらえるような子供に育っしてほしいです。

**廣田** 子供がある程度育つまでは好きなようにさせてあげたいし、そのためにお金がかかると思っんで、ある程度しっかり育てられる経済力を付けたいですね。

**河崎** 人の気持ちを考えてくれる人になってほしい。

**馬場** 子供の好きなようにやってほしい、とも言いつつも、自分の夢として甲子園に行ってもらいたいな、とか考えてしまうような気もします。

**福岡** わたしも、好きにやっていいよ、と言いながら、こつやってほしいなあ、とか考えてしまいます。あとは、生きる力の強い子になってほしいですね。

**山田** 見返りを求めずに他人を思いやれる子になってほしいです。

**高木** 人に好かれるような人間に育っしてほしいです。

**藤山** 好きなことはさせてあげて、のびのび元気に育ってくれれば、それで十分かな、と思っ。

**田中** 子供をやりたい職業に就かせてあげたいので、経済的にもしっかり支えてあげたいです。

**水野** むやみに人を傷つけたりしない、優しい子に育っしてほしいです。

**太田** 自分は、何の分野でもいいから子供には親を超えてほしいな、と思っっている。

**国本** 男性は基本的に責任感のある子供に育っしてほしいと考える傾向が強く、女性は伸び伸びと育っしてほしいと考える人が多いように感じた。自分自身の理想像と子供の理想像が被る部分があると思っ。

**高谷** 多くの人にとってすぐ現実的な問題にはならないし、今の理想の気持ちをずっと持ち続けて、そういう気持ちが通じるライフパートナーが得られるところまで行くことができれば僕は非常にハッピーなことだと思っ。だからまずは、なぜ自分は結婚したいのか、何で子供がほしいのか、という事を自分で考えて、相手の人ときちりいろいろな意見交換をして、それで一緒にやっていくことですね。先ほどライフパートナーに関して、価値観の同じ人と価値観の違う人どちらがいいかという話になりましたが、完全に同じ価値観を持つている人はまずいません。むしろ互いの価値観

に重なるところがある、という言い方が正確なんです。いい関係を保っている間は価値観の同じところに注目するからうまくいくんですけれど、うまくいかなくなると価値観の違う方向ばかりみてしまうようになるんです。関係の長続きするいいカップルになるために大切なのは、相手との価値観の違いを受け入れることができることです。これは別に男女の場合だけではなくて、同性同士の付き合いでもいえることです。だから是非、みなさんにもそういつた相手に出会ってほしいなと、愛の文化人類学者として思っています。もう一つ言いたいのは、もちろん相手を尊重するし、支え合つ、というのは大切なことだけれど、人生の主人公は自分ですから、『自己実現』を目指す事と、ライフパートナーとの支えあいの両立ができればいいと思います。現実には自己実現を我慢する傾向があり、自己実現とライフパートナーとの生活を両立できる環境がこの社会ではまだまだ不十分といえます。まずは自分の事が大事、そして相手の事も一緒に考えていくかたちをとらなければならぬと思います。働いていようが、専業主婦だろうが、そのカップルが一番力を出しやすい形を二人で築いていければいいと思っています。先ほど馬場君が言ったように愛情を注げる相手が増えるのはいいいことですから(笑)。

**司会** それでは皆さん、本日はありがとうございました。

## 座談会を終えて

今回飛翔では、現在大学生である私たちが今まで人生を歩んできた中で一度は考え、またこれからも考えるだろう「結婚+子供」をテーマとして座談会を開きました。座談会はTVで放送されている『しゃべり場』と似た形式のもので、『しゃべり場』を見てはいつも(私もあの場にて語りた!)と思っていた私は、編集する側でありながらたつての願いで座談会に参加させてもらいました。実際に座談会に参加してみると、それぞれの人がやはりそれぞれ違った考えを持っていて、学生結婚を認める人、結婚は社会に出て収入を確保してからではないとダメだという人、専業主婦になりたい人や共働きを望む人など、いろいろな意見が出てきました。そして私は今回、座談会に参加した後、自分の考えに少し変化が起きていたことに気づきました。座談会はお互いに自分の意見を論じ合うわけですから、一つの答えが出てくるとは限りません。でも例え答えが出ないとしても、他の人の意見は自分が持っている考えに影響されて、考えを改めたり、より確信を持たせて深みを持たせたりします。中でも馬場君の『子供ができて、愛情を注ぐ相手が増えることは良いことだ』という意見は、私の中に大きく響きました。私は座談会で子育てを楽しみにしている発言をしています、それは単純に子育てに興味があったのと、子育てをすることで自分に何か変化が起きるのではないかという期待からのものでした。そんな私に、

彼は『愛情を注ぐ相手が増える』という大きな喜びが、子育てにあることを教えてくれたんです。愛している人がいると、私は素直に楽しい嬉ししい幸せで、心がほこほこしてきます。皆さんもそうではないのでしょうか？私たちは誰かを愛することで大きな幸せを得ることが出来ます。もちろん、自分が愛する人が同じように自分を愛してくれたらもつと素晴らしいでしょう。私はこれから、人生を歩んでいく中で、自分が愛情を注ぐことのできる人を見つけ、子を産み、また愛情を注ぐことができる人が増えることがとても楽しみです。皆さんも楽しみになってきたでしょう？ちなみに、私は座談会の中で『良いお父さんになりそうな人に惹かれる』と発言しています。馬場君、あなたはとっても良いお父さんになりそうです。私はあなたに胸キュンキュンです♥(笑)

担当 16生 田中栄一郎 森尾洋一

17生 宮下綾奈 沖原英奈

高野美智子 福岡いずみ